

DIABLO® IMMORTAL™



王の中の王

FRED KENNEDY

PETER BERGTING

BLIZZARD
ENTERTAINMENT



王の中の王

DIABLO
IMMORTAL™

眠れない夜、若き王子アルブレヒトは助言を求めて、父レオリック王を訪ねた。苦悩する息子の心を鎮めるべく、レオリック王は偉大なる征服王アウヒルドの伝説と、エンツタイグ全域で成し遂げたその偉業を語り聞かせる。その物語は、あらゆる王が目指すべき理想像として、アルブレヒトの心に深く刻まれることになるだろう。

文 FRED KENNEDY アート PETER BERGTING

彩色 LAUREN AFFE レイアウト CØREY PETERSCHMIDT

レタリング ANDWØRLD DESIGN 表紙 PETER BERGTING

Blizzard Entertainment

シニアディレクター、ストーリー&フランチャイズ開発 VENECIA DURAN

シニアマネージャー、ライティングおよび書籍 MATTHEW COHAN 監修者 CHLOE FRABONI

編集主任 MEGAN WALKER シニアブランドアーティスト CØREY PETERSCHMIDT

プロダクション BRIANNE MESSINA, TAKAYUKI SHIMBO, VALERIE STONE, LAURA TAYLOR

ゲームチーム監修 DAVID LØMELI, RYAN QUINN, EMIL SALIM,

BENJAMIN WAGNER, SHANNON WILLIAMS 世界設定監修 IAN LANDA-BEAVERS

BLIZZARD®
ENTERTAINMENT Blizzard.com

© 2025 Blizzard Entertainment, Inc. BlizzardおよびBlizzard Entertainmentのロゴは、米国またはその他の国におけるBlizzard Entertainment, Inc.の商標または登録商標です。

出版 Blizzard Entertainment

このコミックはフィクションです。名称、キャラクター、場所、事象は、作者あるいはアーティストの創作もしくはフィクションです。存命か故人かを問わず、実在の人物、事業所、事象、場所とは一切関係ありません。

Blizzard Entertainmentは、作者、サードパーティのサイトおよびサイトの掲載内容に関して、一切の責任を負いません。



「彼は偉大な人物だった。
彼は不公平を理解していた…」

20!?

30の約束だ!
今回の仕事で7人が
死んだんだぞ!

薄情なあんたと
領主様の
せいでな!

あんたらの冬の
暖のために犠牲
になったんだ!

父さん、なぜ狩りをするの?

燻製小屋にあれだけあれば十分に冬を越せる。

欲を出せば、
動物たちを無駄に怒らせるだけだ。

貴族が毛皮を要求しているんだ。
だから、フェイの怒りに耐えるしかない…

…さもなければ
処刑人の斬首台行きた。

「アヒルドは成長するにつれ、
不公平な扱いに不満を覚えるようになっていた。
だから彼は…精神の主張を行ったのだ!」

「精神の主張?
よくわからないな」

「彼はひとりで森の奥深くへと入り、
大地と契約を結んだ…」

「…そして大地は彼の高潔さと勇気を認めた。
大地が彼を王に選んだのだ」

力を貸してくれるのであれば、
私がエンツタイグの人々に復讐しよう。

我々が彼らに、
日の差ない大樹の足下の怖さを
思い出させてみせる。

そうすればフェイも
以前のように森を自由に使うことができる。

「彼はいい人だったの？」

「もちろんだとも！」

兄弟よ、季節は移りゆく！
貴族たちに新しい
風を感じさせてやろう！

「だが残念ながら、
親切心を受け入れない者もいる。
だから彼は戦わざるをえなかつた。」

「アウヒルドの意思を反映するかのように、
空は徐々に暗くなり、彼の軍隊を隠した…」

日暮れか？
そんなはずは…

始末しろ！

「…まるで雲から川が流れ落ちるかのように雨が降り注ぎ、
肥沃な大地は沼となり、敵の足を絡め取った」

撤退だ！

「エンツタイグの強固な砦を攻略したのは、長い歴史の中で彼らが初めてだった。」

「大地を味方に付けた彼らは…
誰にも止められなかった」

抵抗する者はすべて切り捨てろ!
鉄と血を味わわせてやれ!



彼にとて残虐性は不必要なものだった。
皆が彼の民だったからだ。

大地に選ばれし王に誰が
逆らえるだろうか？

彼は変化と、新たな法をもたらした。

アウヒルド王は15の要求を提示した…

…従えば罰は受けず、
新たな生活を与えられる。

拒否した人はどうなったの？

王というのは、
民が道を誤った時、それを
理解させる必要がある。

暴力ではなく…
愛を持ってな。

アウヒルドは何よりも民の
愛と協力を大切にしていた。

この倉庫にある薪の山は…
必要だからではなく、
私腹を肥やすためだ！

我々は自分たちに必要なもの
以外は奪わない。

私に逆らう者は、シャーバルの精霊
たちの罰を受けるだろう！

それで、みんな彼が
好きだったの？

彼は皆に愛されていた！
彼は勇敢で公平だった。

彼は街を作り変え、
強大な王国を作り上げたのだ！

彼の行動は、森の奥深くの危険な精霊た
ちを遠ざけ、民に平和をもたらした。



それと同じ気高い力がお前にも宿っている、アルフレヒト。

だから皆がお前を特別扱いするのだ。

栄光に満ちた未来がお前を待っている。
それが皆に希望を与えていたのだ。



お前にはその力が
与えられている。

見つけたぞ、
アルフレヒト。

支配者となるために大地に選ばれた、
創造に不可欠な存在なのだ。

アウヒルドの靈廟…

